

[主催] 同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)
[共催] 同志社大学 グローバル・スタディーズ研究科
同志社大学 アフガニスタン平和・開発研究センター
同志社大学 神学部・神学研究科

CISMOR 公開シンポジウム

カレーズの会の活動と アフガニスタン復興支援

【講師】

レシャード・カレット

(医師、医療法人社団健社会理事長、カレーズの会理事長)

【パネリスト】

中田 考

(一神教学際研究センター共同研究員)

【司会】

内藤 正典

(同志社大学グローバル・スタディーズ研究科長／教授、CISMOR 幹事)

2012年4月14日(土) 15:00-16:45

同志社大学 今出川キャンパス

神学館3階 礼拝堂

- 入場無料・事前申込不要
- お問い合わせ先

同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)

TEL: 075-251-3972

E-mail: info@cismor.jp

HP: <http://www.cismor.jp/>

【プログラム】

1) 開会挨拶 15:00-15:05 小原 克博 (CISMOR センター長)

2) 講師紹介 15:05-15:10 内藤 正典

3) 講演 15:10-16:00 レシャード・カレット

「カレーズの会の活動とアフガニスタン復興支援」

— 5分間休憩 —

4) パネルディスカッション 16:05-16:45 レシャード・カレット、中田 考、内藤 正典

【講師・パネリスト紹介】

レシャード・カレット レシャード医院 院長、NGOカレーズの会理事長

1950年生まれ。1969年4月来日し、1976年に京都大学医学部卒業。その後、関西の各病院で医師として勤務し、静岡県島田市にレシャード医院を開設、医院長を務める。介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、介護複合施設を設立、理事長を務める。イエメン共和国、パキスタンにて、結核対策プロジェクトに携わる。2002年にアフガニスタン国での医療と教育面での復興支援を目的としたNGO「カレーズの会」を発足、理事長を務める。地域での地域医療に従事する傍ら、海外でも医療活動を続ける。国内外を問わず地域医療の向上への活動が評価され、第61回保健文化賞（2009）など数々の賞を受賞。著書『知ってほしいアフガニスタン 戦禍はなぜ止まないか』（高文研、2009）がある。

中田考（なかた こう） 同志社大学CISMOR共同研究員、アフガニスタン平和・開発研究センター研究員

1960年、岡山県生まれ。東京大学を経て、カイロ大学大学院文学部卒業。1992年から1994年まで在サウディアラビア日本国大使館専門調査員を務める。2003年～2011年、同志社大学にて教鞭をとる。専門はイスラーム学ならびにイスラーム地域研究。1997年～1998年には、日本と中東地域との学術の国際交流事業を目的とした、日本学術振興会カイロ研究連絡センターの所長を務めた。現在、アフガニスタンやマレーシアをフィールドとし、積極的な研究活動を続けている。

内藤正典（ないとう まさのり） 同志社大学グローバル・スタディーズ研究科長/教授、CISMOR幹事

1986年～2010年、一橋大学にて教鞭をとる。この間、シリアのダマスカス大学文学部客員研究員やトルコのアンカラ大学政治学部客員研究員として留学。2010年4月より、同志社大学グローバル・スタディーズ研究科長。一橋大学在任中よりCISMORの共同研究員を務め、その活動に深く寄与している。

専門は、現代イスラーム地域研究、イスラーム世界と西欧の国際関係。特にヨーロッパ諸国におけるムスリム移民の社会・文化的問題に関する研究の分野では『神の法 vs.人の法—スカーフ論争からみる西欧とイスラームの断層』（共著、日本評論社、2007年）など著書多数。